

北光

第 154 号

平成25年4月25日



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田鉱山専門学校
秋田大学鉱山学部 同窓会
秋田大学工学資源学部

目 次

北光会年会費について	1
年会費銀行口座自動振替のお知らせ	2
平成25年度北光会通常総会・支部総会のご案内	3
巻頭言	小 川 信 明 5
会長便り	菊 地 芳 朗 7
学部創立100周年記念事業報告	8
退職教員挨拶	9
三上健太郎・行松 健一・三浦 公久・福留 高明	
寄 稿	吉 田 壽 壽 13
平成24年度北光会新正会員歓迎会・大学院修了祝賀会	16
平成24年度卒業生・修了生進路状況	17
学生の声「北光会賞受賞者」	20
「クラス幹事」制度について	26
留学生体験記	27
「北光会シンクタンク構想」の実現に向けて	菅 井 幹 夫 28
鉱物資源技術を次の世代に、そして世界に！	狩 野 一 憲 30
平成25年度工学資源学部入学者志願状況	村 岡 幹 夫 31
平成24年度第1回北光会支部長会報告	32
平成24年度北光会第2回理事会報告	33
北から南から	35
母校便り	47
事務局から	51
歌とマンドリン演奏による「秋田鉱山専門学校の歌」CD発売	52
訃報	52
編集後記	54
学部創立100周年記念寄附者御芳名（最終）	59

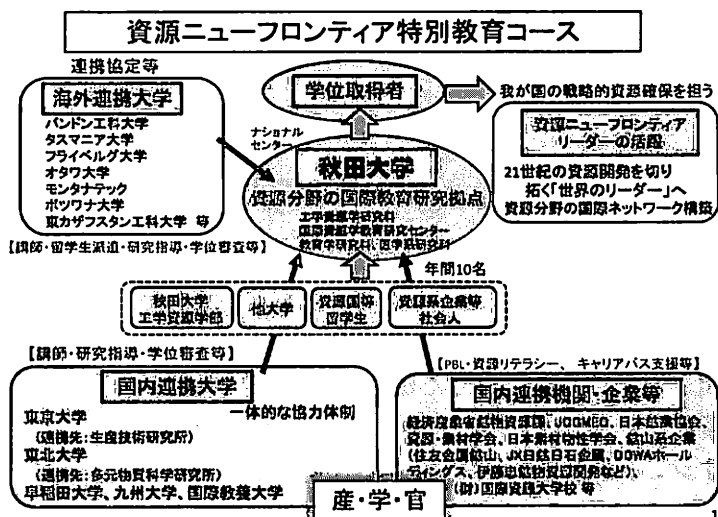


表紙写真説明：百周年記念館

ライトアップされた百周年記念館

ンジし、ヒアリングまでいきましたが、落選してしまいました。しかし、これをバネにして、吉村学長、プログラム責任者の柴山教授はじめ関係する先生方及び事務のご努力によりまして、地方大学としては、数少ない採択の一枚となりました。このプログラムの概要は、右のポンチ絵3つにあるように、工学資源学研究科博士課程に、5年一貫の教育コースを設け、世界的に資源開発ができる高度な技術者・研究者を輩出しようとするものです。世界・日本の資源系の大学、資源開発の団体・企業などとも協力して、プログラムを実施し、この分野で伝統のある工学資源学研究科が世界の人材輩出の拠点となることになりました。

この採択と呼応するかのように、昨年からは、新学部・学部改組の構想が全学で議論され、現在、文部科学省の事前相談を受け、これから設置審の審査を受ける段階にきております。すなわち、わが学部の資源系の教員・学生定員と教育文化学部の教員・学生定員を移動して、国際的に資源開発に貢献できる人材育成を目指し、文理融合型の新学部“国際資源学部（仮称）”を設置し、また、現在学部におられます教員を中核に、工学資源学部を、従来の工学に加え、理学の教育を強化した“理工学部（仮称）”に改組するというもので、いずれも、平成26年度の開設を目指しております。新学部のほうは、上記リーディング大学院教育プログラムの学部



版という位置づけかと思えます。また、理工学部のほうは、新学部に移ることになります地球資源学科を除いた7学科を4学科に統合再編し、各学科に合計9つの教育プログラム（コース）を設け、入学後に転学科・転コースが可能な柔軟な組織構成とする予定であります。現在の大学改革の刻一刻の進行状況は、大学のホームページの“改新”のところにもありますので、ご覧ください。

いうまでもなく、改革・改組は、その実行とその結果が問われます。在校生、卒業生、教職員、そして、関連業界の皆様のご協力なしには、良い結果は生まれません。なにとぞ、お力をお貸しください。

私としましては、これら一連の改革・改組は、必ずや学部・研究科の大きな発展を約束するものであると信じ、今、このことを学部長としてお伝えできることを誇りに思っております。

新正会員の活躍に期待する ～クラス幹事制度の発足～

菊 地 芳 朗 (GS34)



今年の冬は例年にない寒波と大雪でした。被害に遭われました皆様には心からお見舞い申し上げます。

長い間お世話になりました創立100周年記念事業は初期の目的を達成し、昨年11月17日に役員会を行い解散致しました。

会員の皆様には大変お世話になり衷心よりお礼申し上げます。

皆様から賜りましたご芳志は最終的には下記の通りでした。募金者数は4,570名(件)総額2億600万円で、その内訳は

企業	業	264件	5,973万円
篤志者		22名	153万円
教職員		184名	1,142万円
学部後援会		16回	3,546万円
北光会		4,084名	9,786万円

でした。募金目標3億円に対し約7割の結果となりました。しかし北光会は目標の略1億円を達成することが出来ました。皆様には重ねてお礼申し上げます。詳しいことは「北光」本号に掲載してありますのでご覧ください。

創立100周年記念事業として建設しました鉾山専門学校本館を模した「百周年記念館」は、昨年10月に完成致しました。北光会は11月5日、ここに引っ越しして業務を行っております。

総会時に記念館の見学会を行います。ご覧になりたい方は本号に同封致しましたハガキにて申し込んでください。

さて、新学部の創設のことですが、昨年の総会時の講演で吉村学長より国際資源学部(仮称)の創設に伴い大学の改組の話がありました。また、地元の新聞にも報じられました。

その内容は、「北光」第152号で述べましたように国際的な資源開発や金属資源リサイクル分野に教育文化学部の国際系課程を集約して国際資源学部(仮称)を新設する。工学資源学部の工学・理学系学科は理工学部(仮称)に改組する、というものです。平成26年4月から新組織となるよ

う努力しております。

北光会は二つの学部の同窓会として、両学部の発展に協力して行くことにしております。

3月22日に卒業式が行われ、その後新正会員の歓迎会が行われました。今回から北光会旗の入場で始まりました。

ここで「良き先輩となれ」と申しました。これには色々な意味がありますが、ここで述べたことは「皆様が企業に勤めまると、企業は皆様の勤務評価を行います。一方、大学にはこれから続く多くの後輩がおります。皆さんの評判が良ければ大学の評価も良くなり、それでは秋田大学からもっと採用しようとなります。勿論この逆もあります。皆さんが就職出来たのは先輩の影響が全くない、とは言い切れないでしょう。

北光会は、長い歴史の中で先輩は後輩のことを思い、母校の発展を願い、同窓生の絆を強めてきました。

皆様も、これからの社会や職場で後輩と母校を思って頂きたいと思います。

このように先輩が後輩を思いやることが同窓会・北光会ではないのでしょうか。このことを良く理解して活躍されることを期待しております」と申し上げました。

本年より卒業生との連絡を密にし、会の活性化と会費納入率の向上のためクラス幹事制度を発足致しました。各幹事の皆様には宜しくお願い致します。

北光会は「北光会技術相談システム」(仮称)を立ち上げることにしました。これは、会員には様々な分野で活躍している多数の専門家がおります。これらの豊富な経験を北光会の組織を利用して会員の相談に答えていき、会員相互の信頼関係を深めて行くことを目的としております。詳しくは本号の記事をお読みください。

北光会は昭和3年に設立され、本年の6月で85周年となります。総会時の講演会を市民に開放した記念講演会とすべく検討中であります。

北光会は皆様の会費で維持されております。会費納入率の向上にご協力ください。

学部創立100周年記念事業報告

寄附金 累計件数 5,285件 累計金額 206,003,128円 (平成25年1月31日現在)

寄附者御芳名 (敬称略)

下記の方々よりご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。

本誌59ページ以降に、平成18年7月1日から平成25年1月31日までの寄附者御芳名を掲載しております。

(平成24年9月1日～平成25年1月31日受付分)

クラス会・団体
工学資源学部後援会

現教職員
宗 像 健 三 高 橋 弘 樹

採鉱学科・鉱山学科 (採鉱学課程)
辻 光 BS40

以 上

【お詫び】

秋田大学工学資源学部創立100周年記念事業報告の寄附者名簿に、下記2名の方のお名前が掲載されておりました。林様、手塚様には大変ご迷惑をおかけいたしました。深くお詫びいたします。

鉱山学科	BS31M	林	嘉 武	30,000
情報工学専攻	IH16	手 塚	秀太郎	5,000

学部創立100周年記念会事務局

新しい事務室でお待ちしております (正式名は、工学資源学研究科分室 通称 北光会事務室)

平成24年11月5日、百周年記念館2階(209号)に北光会事務室が移転いたしました。室内もかなり広くなりましたので、クラス会開催の折などお気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

(2枚の写真はワンフロアで繋がっております)



北光会グッズのご案内



「北光会ネクタイ」
青とエンジの2色。シルク100%でネクタイの下部に北光会のマークが織り込まれております。
販売価格：1本4,200円(郵送の場合は4,500円)

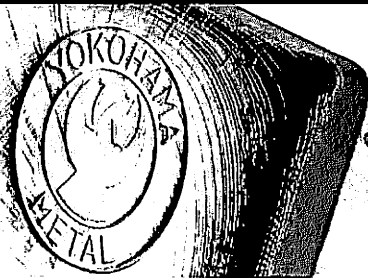


「北光会ネクタイピン」
鉱専時代からの校章をデザインした七宝焼き風のネクタイピン。
販売価格：1個3,500円(郵送の場合は3,700円)



「北光会の旗(兼風呂敷)」
—ダイヤモンドのごとき固い絆を旗頭に—
販売価格：2,000円(送料北光会負担)

お申し込み、お問い合わせは下記まで。
北光会事務局 TEL・FAX 018-835-9822
E-mail: info@hokkokai.com



横浜金属株式会社

終わりのない鉱脈は、都市にある。

純銀
999.9

Gold Silver Platinum Palladium Rhodium Ruthenium

- 社団法人日本金地金流通協会正会員
- L.M.E.(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金受渡供用品指定ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金指定鑑定業者
- 日本工業規格認証取得工場(銀地金)
- ISO9001認証登録(横浜金属株式会社)
- ISO14001認証登録(横浜金属商事株式会社)
- ISO9002認証登録(裕昌金属工業株式会社)
- 社団法人日本経済団体連合会会員(横浜金属株式会社)

貴金属 精製・精錬

貴金属 歯科材精製・材料販売

貴金属 工業材料

貴金属 宝飾品加工販売



YOKOHAMA METAL CO., LTD.

横浜金属グループ

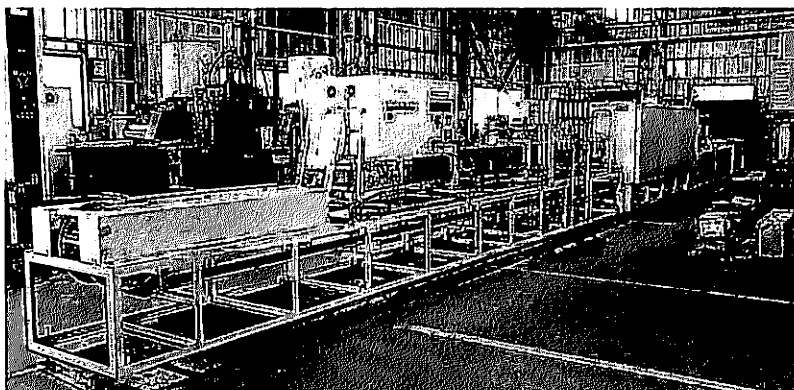
横浜金属商事・JCY・裕昌金属工業(韓国)

本社/〒252-0182 神奈川県相模原市緑区橋本台3-5-2 Tel.042(773)4411 Fax.042(773)4775

<http://www.yk-metal.com>

ステンレスの光輝焼鈍・硬化処理

精密鍛造の光輝球状化焼鈍



株式会社 **サーマル**

〒173-0014 東京都板橋区大山東町38-8

Tel.03-3962-4011 Fax.03-3963-0694

URL <http://www.e-thermal.co.jp> E-mail thermal1@sepia.ocn.ne.jp